

対象国の条件 : アジアを中心に世界各国

研修コース番号 : J1804133

案件番号 : 1884855

主分野課題 : 経済政策/金融

副分野課題 :

使用言語 : 英語

**案件概要**

事業者の資金調達手段としての銀行の役割は大きく、健全な銀行運営は経済の原動力である。しかし適切な監督体制が伴わない状況では、債権査定が適切になされず、不良債権が積み上がり、財務基盤が急速に痛む可能性がある。グローバル経済の下、金融危機の国際波及の速度は速く、万が一銀行が破綻すれば、影響は計り知れない。そのために、普段から適切に規制を運用し、経営を監督する当局の体制整備が必要であり、我が国の経験は先例となる。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

【案件目標】  
各国の金融システムの安定化および銀行規制監督の改善に向けた政策改善提案が作成される。

【対象組織】  
金融監督当局

- 【成果】
1. 日本の金融規制監督、当局の現状を説明できる。
  2. 金融規制監督に必要な基本的条件を説明できる。
  3. 自国の金融監督のための法制度、監査、監督について説明できる。
  4. 自国の金融規制監督改善のためのアクションプランが立案できる。

- 【対象人材】
- ・中央銀行・金融行政・財務担当官庁の局長レベル
  - ・金融監督・銀行監督に携わっている経験10年以上

**内容**

金融規制・監督政策に係る理論的な講義が中心。内容としては以下の通り。

- ・金融規制監督当局の体制・法整備
- ・マクロ/ミクロ・プルーデンス政策
- ・バーゼル基準への対応
- ・金融検査の実施と未然防止策
- ・リスク管理対策
- ・銀行監督ガイドラインをはじめとする各種マニュアル・ガイドライン
- ・ジョブレポートの発表
- ・アクションプランの発表

本邦研修期間

2018/10/10～2018/10/27

担当課題部

産業開発・公共政策部

所管国内機関

JICA東京（産業公共）

関係省庁

実施年度

2016～2018

主要協力機関

一般社団法人 金融財政事情研究会

特記事項  
及び  
ホームページ